

哺乳類評価度	種 類 名	生 息 環 境 の 特 徴 等
6	ニッコウムササビ ニホンアナグマ ホンシュウジカ	良好な森林に生息するが近年その地域が狭まっている種である。 生息域の改変により減少の傾向にある。 生息域が限られている。
7	ニホンツキノワグマ	生息域の改変により生息域が狭められている。
8	ホンシュウモモンガ ヤマネ ホンドザル	生息域が急激に減少している。 山地等の樹林に生息するが局部的であり個体数も少ない。 奥羽山脈脊梁部等の山地帯と金華山など生息域は局限される。森林の伐採により生息環境が減少の傾向にある。
9	ニホンカモシカ	日本の特産種であり、生息地は標高500～1,800mの急峻な場所などを含む地域である。
10	ホンドオコジョ	高山獣であり高山地帯に限り生息している。

(2) 鳥 類

本計画においては、次の2点を考慮して、生息分布図を作成し、それを基礎としてそれぞれ評価度を設定した。

第1点は、繁殖時期における生息域の重視である。季節によって生息域が変わる場合には、繁殖地域を重視して分布域とした。

第2点は、渡り鳥の冬鳥と旅鳥については、著名な集団渡来地などを重視し分布域とした。また、県内の自然環境に対応させて、別表に定める生物群を指標群として、指標群から代表的な種で一般の人々にも比較的知られている鳥類をかかげ、その生息域の名称とした。

鳥 類 評 価 度

鳥類評価度	指 標 域	指 標 群
1	ドバト域	ドバト
2	スズメ・ムクドリ域	スズメ、ムクドリ
3	ヒヨドリ域	ヒヨドリ
4	ホオジロ域	ホオジロ

種 の 貴 重

狩 猟 獣

狩 猟 獣

狩猟獣(オス)、保護獣

狩 猟 獣

天然記念物

保 護 獣

特別天然記念物

保 護 獣

〔鳥類評価度〕

鳥類の評価に当たって、
定した。すなわち、高山
のように生態系の頂点に
は最も高く評価した。次
範囲の狭い種の生息地
続けて評価した。また
ガン・カモ・ハクチョウ類

表

都市地域

農耕地の多い村落地帯

森林の多い村落地帯

灌木林の多い丘陵地帯